

セリック(株)



本社・テクニカルセンターの外観



インタビューに答える佐藤郁夫社長

人工太陽光の照明機器で塗料・塗装現場での色彩計測や調色で多くの実績を誇るセリック(株)は、このほど本社(東京都港区赤坂)を埼玉県越谷市のテクニカルセンター(〒343-0851 埼玉県越谷市七左町 7-334-1 ☎(048)967-5328)に集約して、5月6日(木)より業務を開始した。

統合の目的と経緯を、同社の代表取締役佐藤郁夫社長に伺った。

1. 統合の目的と経緯

「もともと本社とテクニカルセンターの統合は希望として持っていましたが、東京から埼玉にオフィスが移転することで通勤の負担が非常に大きくなる社員がおり、統合できずにいました。それがコロナ禍でリモートワークが進み、出社しなくても業務が遂行できることがわかり(また仕組みが整い)、この度の統合を決断するに至りました」

2. テクニカルセンターの役割

「テクニカルセンターは、2000年1月に設立しました。研究開発、設計製造、倉庫、出荷などの機能を備えています。敷地面積は990m²、建坪300m²の広さで3階建ての構造です。駐車場も広く、大型のトラックも出入りできるため、より大型装置の製造販売も可能になっています。

本社とテクニカルセンターが統合されたことにより、営業とエンジニアの知識向上の相乗効果が期待されます。

営業は製品を直に触ることができ、お客様からの技術的な質問や相談に対してすぐにエンジニアに相談できます。また、エンジニアは営業が近くにいることでお客様の声が届きやすくなり、よりお客様に寄り添う製品づくりが実現できます」

3. 今後の展望

「太陽光に特化した人工太陽光源の専門メーカーとしての姿勢はこれまで通りですが、長寿命省電力化のためのLED光源の開発、新たな用途開発、海外進出など、幅広く今以上の多くのお客様に太陽光を届けるべく、全社一丸となって業務に邁進してまいります」と結んだ。

今回の統合・集約は、本社・テクニカルセンターの機能性と技術・サービスのアップなどさまざまなメリットが期待されよう。



セリックが手掛ける太陽光近似のLED